

補助事業番号 27-2-016
補助事業名 平成27年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 NPO法人全国ことばを育む会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ことばに特別なニーズをもつ子どもたちとその家族に対して、地域社会での自立と社会参加を促すことを支援するとともに、全国各地の親の会及び関係諸団体や有志との緊密な協働のもとに、ノーマライゼーション社会の実現に寄与することを目的としている。

(2) 実施内容

① 心身障害児対策のための無料検診 (<http://b.zkotoba.jp/>)

ことばやきこえやコミュニケーションに悩みや不安のある子ども達とその親を対象に2種類の相談事業を実施した。身近にことばの教室や相談する場所がない地域でも実施することで、相談や教育対応が受けられず埋もれてしまうことがないようにしている。JKAの補助をいただいたおかげと感謝の声が届いている。



「専門家による聴力検査です」



「ご夫婦で相談に来られました」

② 集団キャンプ事業 (<http://b.zkotoba.jp/>)

ことばやきこえやコミュニケーションに悩みや不安のある子どもたちが、親や兄弟姉妹やスタッフと共に、様々な体験や行動を通して達成感を感じることができた。また、親にとっては、活動に取り組む我が子の成長をみて、今後の家庭での子育ての在り方を考え直すきっかけにもなった。スタッフに我が子を委ね、親同士が本音で語り合う中で、進路や就労等、子どもの将来に向けて、学び合うことができた。



「お父さんが工作の先生です」



「親子で体育館がいっぱいです」

③ 指導者養成研修会の開催 (<http://b.kotoba.jp/>)

子ども達の発達や支援に関する様々なテーマについて、専門の講師の先生を招き学び合った。また、1人1人の参加者が活動実践を報告したり、具体的な対応策を体験したりと、幼児期から就労までの幅の広い子育ての悩みに対応できるリーダー的な役割をもつ会員の育成のための研修会となった。



「発音の仕組みを学びました」



「活動実践を出し合いました」

2 予想される事業実施効果

障害者差別解消法が28年4月より施行され、様々な場で合理的配慮が求められるようになってきている。また、学校教育では、インクルーシブ教育システムシステム構築の動きが強くなってきている。

このような状況において、本会が進めてきた子どもを真ん中に親と先生が3人4脚ですすめる取り組みは、今まで以上に大きな役割をもってきていると考えられる。

無料相談では、子ども達1人1人に合わせ、決め細かな相談を専門家が行うことにより、不安や悩みを抱えた親たちが大きな支えを得ることが出来た。キャンプ事業では、家族の結びつきが強まり、親同士の密接な交流ができ、孤立感をなくすことができた。指導者養成研修会では、リーダー的役割の会員を育て、幅広い子育ての悩みに対応したり、会員同士の相互理解や支え合いを進めることができた。

JKAの補助をいただいた各事業の実施により、「障害のある人が幸せに暮らせる社会」「差別のない社会」の進展に、小さなあゆみだが寄与できたと考える。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当無し

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

『ことば』年4回発行 NO.278~NO.281 (<http://b.zkotoba.jp/>)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： N P O 法人全国ことばを育む会（ゼンコクコトバヲハグクムカイ）

住 所： 〒105-0012

東京都港区芝大門1-10-1 全国たばこビル6 F

代 表 者： 理事長 加藤 碩（カトウ ヒロシ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 池田 幸男（イケダ ユキオ）

電 話 番 号： 03—6459—0989

F A X： 03—6459—0989

E - m a i l： npo-hagukumukai5108@waltz.ocn.ne.jp

U R L： <http://b.zkotoba.jp/>